

大正七年四月

保健衛生調査會第二回報告書

保健衛生調査會

国立保健医療科学院蔵



10012028

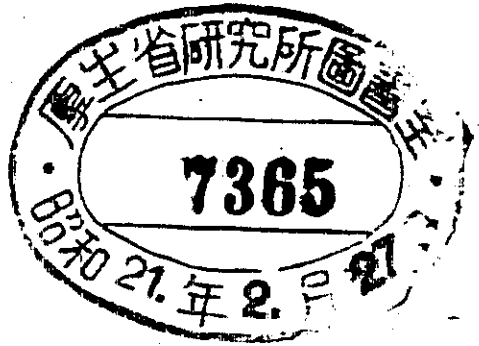
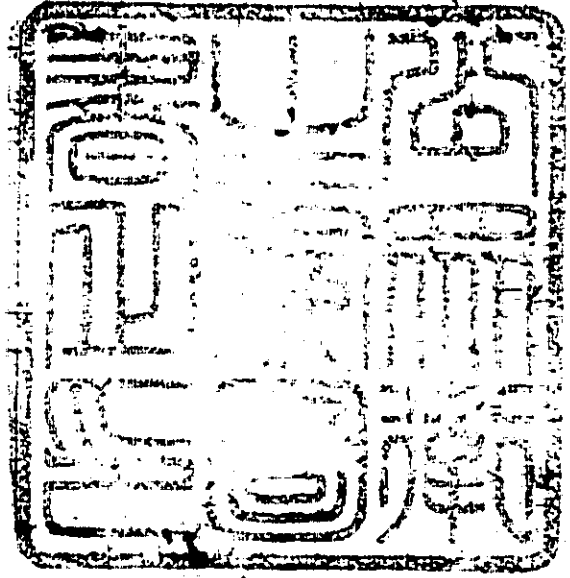
P-A
2
17

7365

2/2 27日
川上理一氏
東京大学
理学部
理学系

808

P-A
2
17



例言

本書ハ大正六年四月ヨリ大正七年三月ニ至ル間ノ議
事ノ概要ヲ輯録シタルモノナリ

大正七年四月

内務省

保健衛生調査會

保健衛生調査會第二回報告書

目次

第一章 職員	一
第二章 議事	四
第一節 會議ノ回数	四
第二節 議件ノ數	四
第三節 本會議事要領	五
第四節 各部聯合主查會議事要領	一〇
第五節 部會議事要領	一二
第一部會	一二
同特別委員會	七二
第二部特別委員會	八三
第五部會	八三

第六部會	九四
同特別委員會	九七
第八部會	九七

保健衛生調查會第二回報告書

第一章 職員

(大正七年三月現在)

會 長	法學博士	水野鍊太郎
幹 事	湯澤三千男	
委 員		
一 番	醫學博士 磐瀨雄一	
二 番	醫學博士 永井潛	
三 番	法學博士 高野岩三郎	
四 番	醫學博士 瀨川昌世	
五 番	醫學博士 三宅鑛一	
六 番	醫學博士 林春雄	
七 番	伯爵 柳澤保惠	
八 番	醫學博士 伊丹繁	

九番	醫學博士	宮本	叔
十番	醫學博士	富士川	游
十一番	醫學博士	山田弘	倫
十二番		添田敬一	郎
十三番		光田健	輔
十四番		山根正	次
十五番	醫學博士	森林太	郎
十六番	醫學博士	石津利	作
十七番		內野仙	一
十八番		齋藤守	因
十九番	醫學博士	北島多	一
二十番		栗本庸	勝
二十一番	醫學博士	稻葉良	太郎
二十二番	醫學博士	佐伯	矩
二十三番	醫學博士	芳我石	雄

二十四番	醫學博士	高木兼	寛
二十五番	醫學博士	唐澤光	徳
二十六番	法學博士	矢作榮	藏
二十七番	男爵	石黒忠	真
二十八番	醫學博士	西崎弘	太郎
二十九番	醫學博士	三宅	秀
三十番		二階堂保	則
三十一番	醫學博士	宮入慶	之助
三十二番		杉山四	五郎
三十三番	醫學博士	横手千	代之助
三十四番		野田忠	廣
三十五番		北豐	吉

備考

委員渡邊勝三郎ハ大正六年十二月十七日新潟縣知事ニ同中川望ハ同日山口縣知事ニ任セラレ委員ヲ退ク

第二章 議事

第一節 會議ノ回数

種別	大正六年												大正七年		計
	四月	五月	六月	七月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月					
本部聯合主査會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第一部會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同特別委員會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第二部特別委員會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第五部會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第六部會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同特別委員會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
第八部會	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	六	六	—	—	三	—	三	—	五	—	—	—	—	二九

第二節 議件ノ數

會議案種別	調查事項				建議案			
	既濟	未濟	既濟	未濟	既濟	未濟	既濟	未濟
本部會	—	—	—	—	—	—	—	—
第一會	—	—	—	—	—	—	—	—
第二會	—	—	—	—	—	—	—	—
第三會	—	—	—	—	—	—	—	—
第四會	—	—	—	—	—	—	—	—
第五會	—	—	—	—	—	—	—	—
第六會	—	—	—	—	—	—	—	—
第七會	—	—	—	—	—	—	—	—
第八會	—	—	—	—	—	—	—	—
計	二六	—	四	—	—	—	—	—

第三節 本會議事要領

大正六年五月廿一日午後二時開會

出席者

會長 水野鍊太郎 幹事 長岡隆一郎

磐瀬雄一 高野岩三郎 瀨川昌世

三宅鏡一 林春雄 柳澤保惠

伊丹繁 渡邊勝三郎 光田健輔

石津利作 北島多一 栗本庸勝
 稻葉良太郎 佐伯矩 芳我石雄
 高木兼寛 矢作榮藏 西崎弘太郎
 三宅秀 二階堂保則 中川望
 横手千代之助 野田忠廣 北豊吉

第一號議案 小學校及中等學校ニ於ケル生理衛生ノ教育改善ニ關スル建議

國民ノ保健ニ密接ノ關係ヲ有スル生理衛生ノ教育ニ就テハ遺憾ノ點少カラス就中左ニ列舉セル事項ハ其ノ主ナルモノトス宜シク速ニ之カ改善ノ方法ヲ講セラル、樞主務大臣ニ交渉セラレムコトヲ望ム
 右及建議候也

大正六年 月

保健衛生調査會長法學博士 水野鍊太郎

内務大臣男爵後藤新平殿

一、小學教育ニ於テハ生理衛生ニ關スル一般的概念ヲ確實ニ與フルヲ以テ目的トシ殊ニ其ノ教材ハ直

ニ國民生活ニ應用シ得ルモノヲ選ヒ之カ實行ヲ期シ且教科書編纂ニ當リテモ此ノ趣旨ニ副ハシメラレタキコト

二、中等教育ニ於ケル生理衛生學ノ教授ハ左ノ諸項ニ亘リ改善セラレタキコト

(イ) 現行教科書ハ人體ノ形態ヲ重視シ徒ニ學生ノ腦力ヲ勞セシムルノミニシテ而モ最モ肝要ナル生理殊ニ衛生ノ概念ヲ與フル上ニ於テハ遺憾ナキ能ハス是教授要目ニ檢束セラルルニ因ルモノナルヲ以テ本要目中生理解衛生ニ關スル細則ハ之ヲ改正セラレタキコト

(ロ) 現行教科書ノ多クハ内容不備ナルノミナラス誤謬モ亦尠カラサルヲ以テ將來之カ檢定ニ際シ十分留意セラレタキコト

(ハ) 教材ハ實際生活ニ適切ナルモノヲ選ヒ之カ應用實行ヲ期セシメラレタキコト

三、教科用圖書ノ編纂、調査並ニ中等教育教科書ノ檢定ニ就テハ其ノ委員中ニ生理衛生ノ學識經驗アル者ヲ加ヘラレタキコト

四、高等師範學校、師範學校、中學校、女學校及中等教員檢定規定ニ於ケル生理衛生、家事衛生、學校衛生等ノ科目ヲ整理シテ之ヲ獨立セル一學科目トセラレタキコト

五、當適ナル條件ノ下ニ醫學者ニ生理衛生學科ニ對スル教員ノ資格ヲ與ヘ之ヲ採用セラレタキコト

六、高等師範學校ニハ醫學者ヲ採用シ生理衛生ニ關スル教授ニ當ラシメラレタキコト

第二號議案

國勢調査ノ實施ニ關スル建議

八

本調査會カ常ニ我人口動態統計殊ニ死亡統計ニ負フ所大ナルハ多言ヲ要セス凡ソ人口動態統計ハ人口靜態統計ト相待テ始メテ充分ニ其ノ効用ヲ發揮シ得ヘキコト亦嘸々ヲ須ヒサル所ナリ而シテ人口靜態統計ハ國勢調査ノ施行ニ依ルニアラサレハ到底正確ナル結果ヲ得ルコト能ハス本邦現行ノ人口靜態調査ハ制度トシテ不備ノ點多ク其ノ統計ハ亦國民ノ實數ニ遠カルコト専門家ノ間ニ定論ノ存スル所タリ然ルニ國勢調査法ハ其ノ發布後既ニ十五年ニ垂ントスルニ拘ラス未タ實施セラレスシテ往昔今日ニ至レリ從テ又人口動態統計ノ効用ノ減却セラルルコト尠カラストス然ラハ則チ國勢調査ノ實施ニ依リテ人口靜態統計ノ完備ヲ見ルト否トハ人口動態統計ノ利用者タル本調査會ニ於テモ亦利害ノ關係大ナラストセス

加フルニ本調査會ハ開會以來既ニ全國ニ於ケル精神病者及癩患者ノ總數其ノ體性年齡別等ニ關スル調査ニ着手シタリ而シテ將來亦恐ラクハ諸種ノ調査ノ實行セラルルモノアルヘシ然ルニ斯ノ如キ調査モ正確ナル全國人口靜態統計ノ備ハルニアラサレハ彼此對照シテ妥當ナル論定ヲ下シ難シ於是乎益々國勢調査ノ必要ヲ感セスンハアラス

斯ノ如ク本調査會カ國勢調査ノ施行ニ期待スル所鮮少ナラス然ルニ現在ニ於テハ不充分ナカラ現存ノ

人口靜態統計ヲ利用スルノ外ナク空シク實施期ノ不定ナル國勢調査ノ結果ヲ待ツコト能ハサルヤ論ナシ然リト雖本調査會カ過去並ニ向後ニ於テ定ムヘキ調査ノ方針調査ノ方法ハ必スヤ長ク將來ニ持續セラレ以テ邦人ノ保健衛生上ノ研究及ヒ施設ニ甚大ノ裨益ヲ與フヘキコト蓋シ疑ナカルヘク然ラハ則チ本調査會ハ假令自ラ直チニ國勢調査ノ惠澤ニ浴シ得ストスルモ尙ホ且其ノ實施ノ急速ナランコトヲ切望セサルヲ得サルナリ

以上ノ理由ニ依リ本調査會ハ國勢調査ノ急務ヲ認ムルカ故ニ宜シク速ニ其ノ實施方法ヲ講セラルヘキ様當局ニ交渉セラレンコトヲ望ム

右及建議候也

大正六年 月 日

保健衛生調査會長法學博士 水野鍊太郎

內務大臣男爵後藤新平殿

右第一號議案ニ就テハ高木委員(第六部主査)第二號議案ニ就テハ柳澤委員(第八部主査)ヨリ各説明スル所アリ審議ノ末兩案共全會一致ニテ可決セリ

午後三時閉會

第四節 各部聯合主查會議事要領

大正六年六月十三日午後二時開會

出席者

第一部主查	三宅秀
第三部主查	山根正次
第五部主查	柳澤保惠
第六部主查	高木兼寛
石 黒 忠 惠	中 川 望 横手千代之助
高野岩三郎	栗 本 庸 勝 山 田 弘 倫
二階堂保則	光 田 健 輔 内 野 仙 一
幹事 長 岡 隆 一 郎	

互選ノ結果石黒委員座長トナリ三宅委員ヨリ大正七年度各部ニ於テ調査セムトスル事項及實地調査ニ關シテハ各部ノ聯絡ヲ圖リ綜合的ニ調査スルヲ便利トスルノ說アリ旁々之カ打合ヲ爲シ併テ豫算編製ノ材料ヲ供給スルノ必要ヲ認メ主查會ヲ開クコトトナレル旨ヲ述ヘタリ

中川委員ハ本調査會ノ豫算ハ最初五萬圓要求セシモ内務省ノ豫算會議ニ於テ三萬圓ニ削減セラレ更ニ大藏省ニ於テ査定ノ結果二萬圓トナリ本年度モ五萬圓要求シ内務省ニ於テ可決シタルモ大藏省ニ於テ三萬圓ニ査定セラレシカ豫算不成立ノ爲メ實行豫算編製ニ際シ遂ニ二萬圓ニ削減セラレタル次第ナルカ今後ハ具體的根據アル豫算ヲ編製シ其要求ヲ貫徹シタシ又本會ニ屬シ事務ニ從事スル囑託員等在ルモ其地位安固ナラサルヲ以テ勤績ヲ欲セサル傾向アルノミナラス相當技能ヲ有スル者ヲ採用シ難ク從テ事業ノ進捗ニ障害アルヲ以テ専門ノ技師三名事務官一名屬技手各三名ヲ置キ其地位ヲ保障シ専心事務ニ從事セシムル必要アリト認ムルニ付自然官制改正ノ希望ヲ有スル旨ヲ述ヘタリ

夫レヨリ協議ノ結果左ノ如ク決定シタリ
因ニ北島第二部主查渡邊第七部主查缺席ニ付第二部ニ關スル事項ハ内野委員第七部ニ關スル事項ハ中川委員ヨリ供述シタリ

(一) 大正七年度ニ於テ調査スヘキ事項

第一部 (イ) 横手委員ノ擔任セル小兒ニ關スル調査ヲ續行スルコト
(ロ) 健康小兒ノ實地調査ヲ爲スコト

第二部 大正五年七月廿九日決議セル事項ヲ調査スルコト

第三部 花柳病勢調査表整理ノ上一定ノ府縣ヲ撰ヒ實地調査ヲ爲スコト

第四部

(イ) 本邦ニ於ケル癩患者總數病狀等ヲ調査スルコト

(ロ) 癩患者ヲ隔離スルニ適當ト認ムル土地調査ヲ續行スルコト

第五部

(イ) 本月三十日ヲ期シ各地方長官ヨリ回報アルヘキ精神病調査表ノ整頓本年度内ニ終了セサルトキハ之ヲ續行スルコト

(ロ) 明治四十二年内務省令第二十七號ニ基キ内閣統計局ニ送付セル精神病者調査票ニ依

リ該患者表ヲ調製スルコト

第六部

(イ) 日本人ノ標準食ニ關スル調査ヲ爲スコト
(ロ) 衣食住ニ關シ衛生的實地調査ヲ爲スコト

第七部 宮入委員ノ調査ヲ續行スルコト

第八部 本年四月三十日決議ニ係ル大正六年度ニ於テ調査スヘキ事項ノ調査ヲ續行スルコト

(二) 實地調査ハ特別ノ場合ヲ除ク外各部綜合的ニ爲スコト

午後五時閉會

第五節 部會議事要領

第一部會

大正六年五月廿八日午後一時半開會(第一回)

出席者

主査	三宅	秀瀨	川昌世	柳澤保惠
	稻葉良太郎	高木兼寛	唐澤光德	
中	川望野	田忠廣		

大正七年度ニ於テ調査スヘキ事項ニ關シ審議ノ末左ノ如ク決議セリ

一、唐澤委員ヨリ健康小兒調査方法ヲ提出スルコト

二、各部主査會ヲ要求スルコト

午後三時閉會

大正六年六月十九日午後二時開會(第二回)

出席者

主査	三宅	秀瀨	川昌世	伊丹繁
	稻葉良太郎	高木兼寛	唐澤光德	
中	川望	横手千代之助		

第一號議案 大正七年度ニ於テ調査スヘキ事項

- 一、大正五年九月九日決議ニ係ル小兒ニ關スル調査ヲ續行スルコト
- 二、健康小兒ノ實地調査ヲ爲スコト

第二號議案 學齡兒童ニ關スル調査ノ件 (横手委員提出)

- 一、東京市中央ノ可及的家屋、衛生状態ノ同一ナリト思ハルル一區ニ就キ全小學校兒童ノ通信簿ヲ基礎トシテ兒童ノ發育状態並ニ齲齒ノ状態ヲ調査スルコト
- 二、屋敷町ヲ多ク有スル一區ニ就キ前述ノ諸項ヲ調査スルコト
- 三、同上學校教員ニ委託シテ調査票ニ左ノ事項ノ記入ヲ乞フコト
 - イ、兒童ノ生年月日
 - ロ、兒童ノ父兄ノ住所、職業、生活程度
 - ハ、兒童ノ疾病ニヨル缺席回数
- 四、前記ノ材料ニヨリ左ノ事項ヲ製表ス
 - 一、年齢別(月ヲ單位トス)體重、身長、胸圍
 - 二、男女別ニシタル年齢別、體重、身長、胸圍
 - 三、生活程度別ニシタル男女別、年齢別、體重、身長、胸圍

- 四、父兄ノ職業別(職工勞働者、商人、勤人ノ三ニ大別シタル)男女別、年齢別、前同斷
- 五、住居(屋敷町、町人町ニ別ケタル)別ニシテ男女別、年齢別、前同斷
- 六、上等生活者ノ兒童ニ就キ住居別ニシタル男女別、年齢別、前同斷
- 七、中等生活者ノ兒童ニ就キ前同斷
- 八、下等生活者ノ兒童ニ就キ前同斷
- 九、男女別、年齢別(年ヲ單位トス)齲齒表
- 一〇、生活程度別ニシタル男女別、年齢別(年ヲ單位トス)齲齒表
- 一一、職業別ニシタル男女別、年齢別(年ヲ單位トス)齲齒表
- 一二、年齢別(年ヲ單位トス)男女別ニセル病氣缺席回数多キ者ノ數
- 一三、生活程度別ニシタル年齢(別年ヲ單位トス)男女別、病氣缺席回数多キ者ノ數
- 一四、父兄ノ職業別ニシタル同前表
- 一五、住居別ニシタル同前表
- 一六、體格表

兒童調查票		校名		小學校	
大正六年 月 日 調查					
姓名	男女	齲齒數	上顎	下顎	
生年月日	明治 年 月 日生	父母ノ職業	生活程度	住所町名	病氣缺席回数
體重			上 中 下	東京市 區 町	
身長		體格	強 中 弱	備考	
胸圍					
脊柱					

第一號議案ハ唐澤委員ニ於テ調査項目ヲ定メ次回ニ提出スルコトニ第二號議案ハ當分延期スルコトトナレリ

又榎手、唐澤兩委員ノ考案ニ係ル小兒調査票組合案ハ假ニ之ヲ認メ第八部ノ意見ヲ徵スルコトニ、初生兒調査票組合ヲ磐瀨委員ニ依頼スルコトニ決議ス

午後四時閉會

大正六年十月廿三日午後一時半開會(第三回)

出席者

- 主査 三宅 秀 高野 岩三郎 瀨川 昌世
 三宅 鑛一 伊丹 繁 富士川 游
 中川 望 榎手 千代之助 野田 忠廣
 北 豐 吉
 幹事 湯澤 三千男

第三號議案 各醫科大學及各醫學專門學校等ニ委囑セル小兒疾病調査ヲ

今後繼續スルヤ否ヤノ件

保健衛生調査會第壹部小兒調査票

第 號

大正 年 月 日調査

調査所名

1	姓名	第 子			
2	住所	府	市	區	町村
3	體性及身分	男	女	公	私 生 兒
4	生年月	明治 大正	年	月	日生
5	病名及其輕重	病名 輕 中 重			
6	發病	年 月 日發病			
7	早產熟產	熟產		早產 (月)	
8	養育ノ場所	生家	養家	里子	育兒所
9	營養狀態	良 中 不良			
10	發育狀態	體重	身長	胸圍	
11	授乳期ノ主ナル榮養方法	母乳	乳母乳	牛乳	煉乳 穀粉 重湯
12	哺乳期間				
13	既往ノ健康及著シキ疾患	健	中	弱	病名
14	實父ノ健否	健	中	弱	死亡病名 年齡 年
15	實母ノ健否	健	中	弱	死亡病名 年齡 年
16	遺傳	結核	微毒	飲酒 (常習性又ハ大量ノモ)	血族結婚
17	父ノ職業				
18	母ノ職業				
19	兩親ノ生活程度	上 中 下			

同胞中死亡者 人 分娩總回数(死流產ヲモ含ム) 回

病名	死亡年齡	病名	死亡年齡	死	流	產
				死流	月	死流 月
				死流	月	死流 月
				死流	月	死流 月

第四號議案

健康小兒體格調査ノ件

唐澤委員 提出

本邦都鄙ニ於ケル健康ナル乳兒、幼兒(就學期迄)ノ體格ヲ検査測定スルコト
調査方法

- 一、東京市ヨリ始メ都市及田舎ノ健康小兒ノ體格ヲ検査測定シ別紙調査票ニ記入スルコト
 - 二、上流乃至中流ノ小兒調査ハ相當ノ醫師ニ囑託スルコト
 - 三、特種ノ小兒團體(小兒保育所、幼稚園、育兒院、孤兒院等)ニハ醫師ヲ派遣シ調査セシムルコト
 - 四、下流殊ニ貧民階級ノ小兒ハ醫師ヲ派遣シテ調査セシムルコト
 - 五、検査ニ要スル器械ハ成ル可ク同一ノモノタルヲ要スルモ醫師ニ囑託スル場合ハ之ヲ限定シ能ハサルカ故ニ本會ヨリ派遣スル場合ニ限り一定ノ器械ヲ使用スルコト
 - 六、附帶調査事項ハ實地調査ノ場合ニ限り調査記入スルコト
- 健康小兒調査票ニヨリ左記ノ事項ヲ製表ス

- 一、生後一ヶ月ニ至ル小兒發育表(生後一週間迄ハ日齡、其後ハ週齡トナス)

- 二、生後一ヶ月ニ至ル小兒發育最大、最小、平均表
- 三、月齡及年齢ニ依リ分チタル小兒 體重表
- 四、同 同 體重增加表
- 五、同 同 體重最大、最小、平均表
- 六、同 同 身長表
- 七、同 同 身長增加表
- 八、同 同 身長最大、最小、平均表
- 九、同 同 頭圍表
- 一〇、同 同 頭圍增加表
- 一一、同 同 頭圍最大、最小、平均表
- 一二、月齡別乳兒年齢別幼兒 胸圍表
- 一三、同 同 胸圍增加表
- 一四、同 同 胸圍最大、最小、平均表
- 一五、小兒體重及身長各年增加表
- 一六、日本健康小兒發育一覽表

一七、生齒表

- 一八、生齒百分比列表
- 一九、齒牙ノ健否百分比列表
- 二〇、大顛門閉鎖百分比列表
- 二一、歩行期百分比列表
- 二二、公、私、生別小兒發育狀態表
- 二三、父母ノ年齢(小兒出生當時)及出生ノ順序ニヨリ分チタル發育狀態表
- 二四、生活程度別小兒發育狀態表
- 二五、榮養方法別小兒發育狀態表
- 二六、哺乳期間ノ長短ト小兒發育狀態トノ關係
- 二七、家計ノ主ナル職業別小兒發育狀態表
- 二八、母ノ年齢ニヨリ分チタル生活程度別生産兒數表
- 二九、生活程度ト同胞ノ死亡トノ關係
- 三〇、乳兒期ノ榮養方法ノ種類及百分比列表
- 三一、哺乳期間表

保健衛生調査會健康小兒體格檢查票

第 號

調查者名

大正 年 月 日 調查

1	姓名	男 女	第 子
2	住所	道府縣	市郡區 町村
3	身分	公 生	私 生
4	生年月日	年	月 日
5	養育場所	主 家	養 家 里 子 育 兒 院
6	頭 圍	釐	
7	大 顛 門	閉 鎖	開 存
8	齒 牙	上顎	大白 小 小 犬 門 門 門 門 犬 小 小 大 白
		下顎	大白 小 小 犬 門 門 門 門 犬 小 小 大 白
9	體 重	瓦	
10	身 長	釐	
11	胸 圍	釐	
12	步 行 期	ヶ月	
13	乳 兒 期 榮 養 方 法	飲用月數	生後一月 同二月 同三月 同四月 同五月 同六月 同七月 同八月 同九月 同十月 同十一月 同十二月
		母 乳	
		乳 母 乳	
		牛 乳	
		煉 乳	
	其 他		
14	離 乳 期	生後 年 月 日	
15	既往ノ著シキ疾患		
16	父 母 ノ 職 業	父ノ職業	母ノ職業
17	兩親生活程度	上 中 下	
18	實父母ノ年齡	父 年	母 年
19	同胞ノ狀態	同胞ノ總數 名(死亡 名)	

健康小兒調查票及附帶調查票ニ依リ前記ノ外尙左ノ諸項ヲ製表ス

- 一、大顛門縱橫徑表
- 二、指極表
- 三、下肢長表
- 四、住居ノ衛生狀態ト小兒發育狀態トノ關係
- 五、乳兒期榮養方法別小兒死亡表
- 六、生活程度別小兒死亡表
- 七、哺乳期間ノ長短ト小兒死亡トノ關係
- 八、住居ノ衛生狀態ト榮養狀態トノ關係
- 九、乳兒期ノ榮養方法ト榮養狀態トノ關係
- 一〇、遺傳關係ト小兒發育狀態トノ關係
- 一一、遺傳關係ト小兒死亡トノ關係

保健衛生調査會健康小兒體格檢查票附帶事項

1	大 頭 門	縱	橫	煙	煙						
2	指	極		煙							
3	下 肢 長			煙							
4	榮 養 狀 態	良	中	不 良							
5	遺 傳 關 係	結 核	微 毒	中 酒 症	血 族 結 婚	無	不 明				
6	住 居 ノ 衛 生 狀 態	坪 數			住 居 人 數						
		換 氣	良	中	不 良	採 光	良	中	不 良		
		周 圍 ノ 狀 態			良	中	不 良				
7	同 胞 ノ 狀 態										
	出 生 ノ 順 序	乳 兒 期 榮 養 方 法	離 乳 期	年 齡	健 否	死 亡 年 齡	死 亡 病 名				
	第 子				健、中、弱						
	同 同				健、中、弱						
	同 同				健、中、弱						
	同 同				健、中、弱						
	同 同				健、中、弱						

保健衛生調査會健康小兒體格檢查票記入上ノ注意

- 一、檢查小兒ノ年齡ハ滿六年以下トスルコト
- 二、檢查小兒ハ熟産兒ノミヲ撰ミ早産兒ヲ除クコト（早産兒トハ豫定分娩期ヨリ二週間以前ニ於テ生レタルモノヲ云フ）
- 三、第一項「第 子」ハ男女別ニ關セス生産兒（死流産ヲ含マス）ヲ數ヘタル順序ニヨルモノナリ
- 四、第五項「養育ノ場所」ハ必スシモ現在ノ養育ノ場所ノ意ニアラスシテ最モ長ク保育サレタル場所ノ意ナリ
- 五、第六項「頭圍」ト稱スルハ後頭結節ヨリ前頭突起ニ度レル最大周圍ヲ指ス
- 六、第七項「齒牙」ハ調査時ニ存スル齒名ニ〇印ヲ、齲齒ノ存スル場合ニハ該當セル齒ニ△印ヲ附スルコト
- 七、第八項、第九項、第十項「體重、身長、胸圍」等ハメートル式單位ニ憑ルコト
- 八、第九項「身長」ハ乳兒ニ於テハ臥位ニ於テ卷尺ニテ測ルコト
- 九、第十項「胸圍」ハ兩乳嘴ノ高サニ於テ安靜時之ヲ測ルコト
- 一〇、第十一項「歩行期」ハ他人ノ幫助ナクシテ自由ニ其歩ヲ進メタル時期ヲ記入スルコト

- 一一、第十二項、「乳兒期榮養方法」欄ハ生後十二ヶ月以内ニ於ケル榮養方法ニ就キ其ノ該當欄中飲用月數ニ應シ各欄内ニ〇印ヲ附スルコト、混合榮養ノ場合ニハ各該當欄中同様〇印ヲ附スルコト
- 一二、第十三項「離乳期」トハ母乳、乳母乳ヲ止メシ時期ヲ云フ
- 一三、第十五項「父母ノ職業」ハ農、商、工等ノ總名ニ依ラス現在ノ職業名ヲ記入スルコト職業ナキ者ハ「無」ト記入スルコト
- 一四、第十六項兩親ノ生活程度ハ一定ノ標準ニヨルコト困難ナルヲ以テ常識的判斷ニ依ルコト
- 一五、第十七項「實父母ノ年齢」ハ現在ノ年齢ヲ記入スルコト
- 一六、第十八項「同胞ノ状態」欄ノ同胞總數ハ男女別ニ關セス生産兒(死流産ヲ含マス)ノ數ヲ謂フ
- 一七、前項ニ特ニ注意セルモノヲ除キ他ハ各欄ノ該當事項ノ下ニ劃線セラレタシ

附帶調査事項記入上ノ注意

- 一、第一項「大顛門」ノ縱徑ハ骨破裂前後ノ尖端間ヲ橫徑ハ同左右ノ尖端間ヲ測定スルコト
- 二、第二項「指極」トハ左右ノ上肢ヲ水平ニ開キ其兩側中指指端ノ距離ナリ
- 三、第三項「下肢長」ハ大腿骨大轉子ノ上端ヨリ足蹠ニ至ル長サナリ
- 四、第五項「遺傳關係」欄ノ「中酒症」トハ「アルコホーリスムス」ノ意味ナリ、「血族結婚」ハ四親等以内

ニ限ル

- 五、第六項「住居ノ衛生状態」欄ノ「其他ノ狀況」ハ住居ノ清潔、不潔、住居地ノ乾濕、飲料水ノ良否及其他ノ衛生狀況ヲ總括シ判斷スルコト
- 六、第七項「同胞ノ状態」欄ノ「乳兒期ノ榮養方法」ニハ生後十二ヶ月以内ノ主ナル榮養方法ヲ記入スルコト、死亡者ニシテ一年未滿ノモノハ月齡ヲ記入スルコト

第五議案 初生兒調査票統計ニ關スル件 (磐瀨委員提出)

- 一、男女初生兒平均體重 (第一表)
- 二、出生ノ順序ニヨリ分チタル男女別初生兒平均體重 (第一表)
- 三、母ノ年齢及出生ノ順序ニヨリ分チタル男女別初生兒平均體重 (第一表)
- 四、出生ノ月ニ依リ分チタル男女別初生兒平均體重 (第二表)
- 五、分娩期ニヨリ分チタル男女別初生兒平均體重 (第三表)
- 六、分娩期及初生兒ノ體重ニヨリ分チタル男女別初生兒平均體重 (第三表)
- 七、家計ノ主ナル職業ニ依リ分チタル男女別初生兒平均體重 (第四表)
- 八、家計ノ主ナル職業及母ノ年齢ニヨリ分チタル分娩回數 (第五表)
- 九、母ノ年齢及母ノ體重ニ依リ分チタル初生兒平均體重 (第六表)
- 一〇、以上ノ統計事項ハ明治四十二年ヨリ大正六年ニ至ル九ケ年間各年毎ニ之ヲ製表スルコト

第一表

母ノ年齢及出生ノ順序ニ依リ分ケタル男女別初生児數及其ノ體重表

母ノ年齢	第一子			第二子			合計		
	初生児數	體重	平均體重	初生児數	體重	平均體重	初生児數	體重	平均體重
20 未滿									
25 "									
30 "									
35 "									
40 "									
45 "									
45 以上									
計									

第二表

出生ノ月ニ依リ分ケタル男女別初生児數及體重表

出生ノ月	初生児數			體重			平均體重		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
一月									
二月									
三月									
四月									
五月									
六月									
七月									
八月									
九月									
十月									
十一月									
十二月									
總計									

第三表

分娩期及初生児ノ體重ニ依リ分チタル男女別初生児數

初生児體重	豫定期日					總數
	一週	二週	三週	四週	五週以上	
11000以上						
11000						
11000以下						
合計						

第四表

家計ノ主ナル職業ニ依リ分チタル男女別初生児數及體重表

家計ノ主ナル職業	初生児數			體重			平均體重		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
農業、牧畜、林業 漁業等									
工業									
商業及交通業									
公務及自由業									
其他ノ有業者									
無職業及職業ヲ申告セサル者									
總數									